

心豊かに  
生涯学習



中之町コミセンだより

第273号

# コロナ禍でも、「新しい生活様式」を取り入れ 創意・工夫のコミセン活動を楽しみましょう♪



料理関係はテイク・アウト(持ち帰り)や、個々人の配膳プレートを準備して食事場所を分散。

体操関係では、寒い時も暑い時も窓全開で

新型コロナ感染症がなかなか鎮静しません。広島県でも5月から「緊急事態宣言」下での様々な取り組みを呼びかけられましたが、三原でも今年度に入って5月連休明けから6月20日まで様々な活動の自粛をお願いしました。もどかしい思いの中での活動が今後も続きますが、振り返ってみてこれまでコミセン内で取り組まれたいくつかの工夫や対策をご紹介します。写真を見て頂くと

「①密集を避けてお互いの距離を広く取っての活動、又は教室の分散」

「②活動中の十分な換気」

「③常時マスクを着用しての授業」などを基本とされているのが分かります。

ダンス講座などでは手を繋いだりして踊る場面でも「手をつないだ気持ちになって、(実際には)肌を触れ合わせない」などを心がけておられます。

ワクチンの接種も進められていますが、全国民への接種にはまだまだ時間がかかるようです。また、ワクチン接種を受けたから完全に安全・安心というわけではありません。「新しい生活様式」を取り入れながら慎重に、そして創意工夫して活動を進めてまいりましょう。特にこれからの暑い時期、マスクの着用を嫌がられる方も多いと思いますが、活動中には常時の着用を心がけて頂くようお願いいたします。



クラフト関係は教室を分散。「三密」を避けての授業。

## 響き合う二中っ子！ 確実な一歩を刻んだ体育大会



6月12日(土)第二中学校で第75回体育大会が開催されました。今回の生徒会テーマは「栞(しおり)～確実な一歩を～」というもの。「栞(しおり)」は読書中に本に挟むものを言いますが、「人生の道に迷わない」という意味と、自分の行動一つ一つに句読点を打ち、一呼吸おき、少しでもいいから確実な一歩を」の学生生活を創っていかうという思いから選ばれたもの。

コロナ対策からの無観客、また途中あいにくの小雨まじりのコンディションでしたが、生徒たちの力いっぱいの競技は、グラウンドの外からの見守りと応援に駆けつけた保護者たちの盛んな拍手に包まれていました。『響き合う二中っ子！』を全身で表現する体育大会でした。



ネット越しに声援を送る保護者の皆さん

コミセンの体験講座生徒募集中！

## 「初心者のアップリケ パッチワーク」

先染生地を使ったパッチワーク  
小さな額入りタペストリーを作成♪

日時:7月21日(水)13:30~15:00

場所:中之町コミセン研修室

講師:松本秀子(日本手芸協会)

参加費:700円(先着10名)

申し込み:7月5日(月)~  
16日(金)まで

詳しくは中之町コミセン

☎64-4099までお気軽にどうぞ

